
申し訳ナチス帝国の野望

怪物もんすたー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

申し訳ナチス帝国の野望

【Nコード】

N5782S

【作者名】

怪物もんすたー

【あらすじ】

JUST ONE MORE KISS！世界に叫ぶ合言葉！僕らはみんな生きている！人間の極限を描いた問題作の登場！

愛に夢に希望に恋に燃える主人公の生きざまがすばらしい作品に仕上がっているぞ！

ちなみに、巷では「申ナチ」と略され、愛され続ける超大作になっているぞ！

1 反乱

おつす。オイラの住んでいる国は「申し訳ナチス帝国」っす。

オイラは申し訳ナチス帝国の足軽兵。

給料は麦とホップなのさ。

麦とホップさえあればみんな平和に暮らせると思っている申し訳ナチス王を退治しようと、オイラは反乱をおこすことにしたんだ。

でも、みんな、麦とホップのおいしさにヤラれてしまい、動こうとしない。

「畜生め。申し訳ナチス帝国の愚民共め！みんな死んでしまえばいいのに！」

オイラは黒魔法を使って申し訳ナチス帝国の愚民共を呪い殺すことにした。

お手製の藁人形。

おおきな釘。

小ぶりのトンカチ。

ジューテームは藁人形に釘を打ち込んだ！

テレレレッテッテー♪

ジューテームはレベルがあがった♪

愚民共はチャーシュー麺になったYO！

テレレツテッテ♪

ジュチームは美しまHUKUSHIMA王国と同盟を結んだ！

「よし！武器は電撃ビリビリ放射能光線だああ！」

うわわわわわ・・・

ぎゃああああ・・・

プギャーーーーー

愚民共のチャーシュー麺たちは叫び声をあげて逃げて行った。

ふふふ。

カス共め！

次はメス豚どもを我が配下にしてしまおうでGOZARU！

あひゃひゃひゃひゃ！

このおさせどもめ！

いやだいやだも好きのうち・・・ってか馬のうち！

ずんずんこんこん鳩のマークの元総理♪

ヒロポンやってずんずん♪

自己破産だよこんこん♪

東電電通クソして寝てろ♪

ジュチームは歌をうたった・・・！

しかし、ジュチームの歌ではメス豚のおさせちゃんたちはなびかな

かった！

「うううう。やっぱり麦とホップはビールじゃないしねえ」

申し訳ナチス帝国の足軽ではおさせであろうとなびかないのがわかった。

死ね死ねイケメン、死ね死ね金持ち！

掛け声新たにおさせのマーチを熱唱であります！

はい！

とりあえずここまで！

これで一話終了です！

みんな、ここまで読んでくれてありがとう！

まだまだ続くZE！

楽しみに待っていてくれよな！（孫悟空風）

2 タフボーイ

く オープニングソングく

ウェルカム トウ ザ クレイジータイム！

このふざけた時代へようこそ

君は

タフボーイ

タフボーイ

タフボーイ

タフボーイ・・・

ジューチームのレベルは今や21。

もうこの辺に怖いものなんかない。

時はまさに世紀末。

水にはプルトニウムなんかが入っていてまともには飲めない。

飲んだものはハゲる！

そんなときに黒魔法でチャーシュー麺になった申し訳ナチス帝国の愚民共。

僕はSEXしたさにおさせのメス豚を配下にした・・・
と思いきや、僕が配下になってしまった。

「おいジューチーム！早く有馬記念の馬券を買っておいで！」

「この甲斐性なし！パイれーつおぶカリびあんしちゃうかんね！」

飛び石で車のフロントガラスにひびが入ってしまい、どやされる僕
ちん。

うううう・・・なんてかわいそう。

何たる不幸・・・。

よし！

こうなったら義援金を募らねばならぬ・・・

「飛び石で車のフロントガラスが割れたジュ टीमに愛の手を！」

別に割れたわけではない。

ひびが入っただけだ。

ただ、小さな事を大げさに言っただけでいいと電通の社員どもが言っ
ていたのだ。

嘘ではない。

大げさに言っているだけだ。

「父が重病で死にそうなんです。愛の手を・・・！」

飛び石義援金が5238215円溜まった！

僕はそのお金を使ってポリスマンを買収した。

ナーナーナナー

ナナーナナー

はい！

今日はここまで！

次回はまた明日！

お父さん、楽しみにまってね（孫悟飯風）

3さらばい

　　～ オープニングソング ～

かゝえりたゝゝくゝなゝゝい
かゝえりたゝゝくゝなゝゝい
かゝえりたゝゝくゝないけどゝ
サヨナラマゝチゝ

サゝラバイバイサゝラバイ
元気にサゝラゝバゝイ

そろそろ門が閉まつちやう！
ほゝら捕まえたゝ

ポリスメンを買収した僕ちん。

「おい！ポリスメン！まずはイケメンを捕まえてこいＹＯ！」
僕はイケメンが大嫌いなので、申し訳ナチス帝国のイケメンをブタ
箱にぶち込んでやるＺＯ！
ほんでもって必殺技のジョンプレイヤースペシャルをお見舞いして
やるＺＥ！

ポリスメンは早速イケメンを捕まえにいった。

1人

2人

3人いるＹＯ

5人

6人

7人いるYO・・・

ポリスメンから続々と報告が入ってくる。

「よし！全部YARICHIIN共を捕まえてこい！」

ポリスメンは358人のイケメン共を捕まえてきた。

早速同盟国である美しまHUKUSHIMA王国へ送ることにしたのさ。

ふふふ。

これで申し訳ナチス帝国にはイケメンは消えた！

あーしてこーして・・・

広がる未来に夢があふれているZE。

「YOSHI！ポリスメン。次は金持ち共をパクってこいや！」

イケメンに引き続き、金持ちも僕为天敵である。

僕は麦とホップの給料ゆえに女にモテない。

イケメンは見ているだけで腹が立つ。

金持ち是不細工な顔立ちでも金の力でSEXしたい放題だ。

こんな不条理許せない！

僕の必殺技のジョンプレイヤースペシャルでやっつけてやる。

1人・・・いるよ・・・

・・・1人・・・やっぱいないよ・・・

h?

なんかポリスメンの様子がおかしい。

・ ・ ・ お前 ・ ・ ・ 捕まえる ・ ・ ・

俺・金持ち・LOVE・

ええええええええええ！！！！！！

ポリスメンが寝返ったあああああ？？？？？

なんで？

[illegible]

あ、わかった！

金持ち共に買収されたんだなあ！

畜生め！

逃げるしかない！

ブタ箱はゴメンだZE！

臭い飯は食いたくない！

よし！

こうなつたら怪物を召喚してやる~~~~~！

エロイムエッサイム

エロイムエッサイム

ぼんっ！

「呼ばれて飛び出てジャジャジャジャ〜ン！お呼びですか？ご主人さま」

よし・・・！

召喚成功だぜ！

「おい！中岡ゲン吉！お前のピカドン攻撃でポリスメンをやっつけてくれ」

「ラジャー。」

ぐきぎきぎきぎきぎきぎき・・・

ポリスメンは倒れた。

テレレレッテッテ♪

ジュチームはレベルがあがった！

よっしゃーーーーー！

レベルアップだぜ！

このレベルなら金持ち共を一網打尽の焼肉定食だ。

らーらーら

らーらーら

言葉に出来ない

おっす！

いやあ、今回もおもしろかったねえ！

さて、今回からはみんなのリクエストを待ってるぜ！

次回も楽しみに待っててくれよな！

4 なめたらアカン

オープニングソング

なめたらア・カ・ン

なめたらア・カ・ン

人生ナメずに

あれナメてえ

僕の嫌いなイケメン共は消えた。

同盟国である美しまHUKUSHIMA王国にイケメン共を送って
やった。

イケメンざまあ。

しかし、手間取っているのは金持ち共。

その中にはOKINAWA組の輩なんかもいるんで、もうたいへん
なんですう（泣）

やつらはトコトンやるってもんで、もう逃げ回るしかない。

不良A「あ、ジューテムがおったでえ！さらえやああ！」

不良B「までこらああ！待たんと殺すどおお！」

あいつ、何言つてんだ???

待ったら殺されるにきまつてるじゃん。

馬鹿なの？死ぬの？どっち？

と、Bダツシュ！猛ダツシュ！

しゅたたたたたたた・・・

逃げる！逃げる！逃げるゝい！

あ、反則技使っちゃおうかな。

テケテテッテテゝ

ここで作者お決まりの黒魔法ゝゝゝ

はあああああ！

うなれ！俺のコスモよ！

きばれ！俺の肛門よ！

うううう・・・ん

ブリッ

シャブが肛門から出てきた！

不良A「うお！こいつシャブ出しやがった！」

不良B「もっと出せや！」

リクエストにお答えして・・・

うううう・・・ん

ブリッブリッブリッとな。

不良A・B「ありがとうございますだ。これさえあれば俺らは生きていきますはい」

「ふむ。分かればよろしい。どうだ？これから鬼退治に行くんだが、

ついてこんか？」

不良A・B「はい！喜んで！文学ジャンルでデイリーNo.1おめでとうございます！」

ふふふ。

僕の偉大さが分かってきたようだな。

よし！これから鬼退治に行くぞーん！

行くぞ！A・B！

ってあれれれれ？

シャブの食いすぎで死んじゃったよ・・・。

ま、いつか。

その辺にシャブを置いておけばOKINAWA組の連中も追ってこないしな。

なんていったって処女作でNo.1取っちゃったし、サービスサービス♪

今日は記念で麦とホップではなくて一番搾りでも飲むかなあっと。文学賞でも狙うか、出版社に送りつけるか考えものだな。

とりあえず、明日生きる事を考えねば・・・。

はい。

今回はここでおしまい♪

ども、「申し訳ナチス帝国の野望」作者：怪物もんすたーです。

今回もおもしろかったよね？

やっぱり？

僕もそう思います。

けっこうさ、なんていうかな、天才肌・・・っての？
最高だよね。

ではまた。

次回も楽しみにしててねえ！

5 住み慣れた我が家に

くオープニングソングく

住み慣れた我が家に

花の香りを添えて

やさしく育ったく

テレレレレレレレレレレレく

この町で一番素敵に暮らしたあくいく

リフォームーしようよく

新日本ハ〇スくく

という事で今回のジュTEAM、今までと違い、かなりシリアスモード。

鬼退治と称していよいよ申し訳ナチス帝国の城・新日本城に攻めに行くのです。

新日本城では皇帝が住まう。

町娘たちを囲い、酒池肉林な日々を送っていた。

しかし、新日本城には僕と同じ足軽兵が常に1000人常駐している。

僕は同僚の足軽兵と激しいバトルを繰り広げ、勝利を収め、魑魅魍魎、酒池肉林、焼肉定食うごめく新日本城から町娘どもを解放せねばならない。

そして、新日本城を僕の根城にせねば。

決意を新たに住み慣れた我が家に別れを告げ、新日本城を目指す。

てくてくてく・・・

「わんわん」

「シャー、シャー」

今日はやけに犬や猫がうるさいなあ・・・。

と、思っていたそのとき・・・！

グゴゴゴゴゴゴ・・・！

う、うわあああ！

なんて激しい揺れだ～～～！
全然収まる気配がないじゃないか！
とてつもなく揺れている！

揺れて揺れて今心が何も信じられないまま
やっていたのは・・・

犬猫・・・！

盛りのついた犬猫どもが、そこらじゅうでZUKOBAKOZUK
OB AK O やっているではあ～～りませんか！

あまりにも激しすぎるため、地面がひどく揺れている！

1分くらいすると激しい揺れも収まった。

「犬猫どもは早漏だったのか・・・」

僕はやり終えた犬に向けて親指を立て、グッジョブと心の中で呟っていた。

てくてくと歩いていると、後方から声が聞こえた

女「もし、お待さん！どちらへ行かれるのですか？」

ジュ「ん？ああ、拙者、新日本城を解放にいくでGOZARU」

女「まあ。それではお種を頂戴出来ませんか？」

お種・・・だと・・・？

こ、こ、このパン公め！そんなに勇敢な僕とやりたいのか！

ううう・・・この世に生を受けて30年ちよつと・・・。

やっとSEXが出来るよ。

ありがとう。ママ。

僕を生んでくれてありがとう・・・。

ジュ「お、おう。種か。くれてやっても構わんが、今晚でよいのか

？（キリッ）」

女「今晚まで待てませんわ！早速お願いします！」

フリーヒーフリーヒー・・・

な、なんて淫乱なんだ！

まっ昼間っから・・・

・・・

・
・
・
・
・

・
・
・
・
・
・

!!

・・・そうか！

犬や猫が盛っていたように、この町娘も盛っているんだな！

そうかそうか。

ういやつ、ういやつ。

娘に手を引かれ、走っていく。

走らなくてもいいじゃない。

そんなにやりたいんですかあ？

まあよろしくやりましょうよあ。

ん？

畑？

こんなまっ昼間からアオカンなんて・・・

僕、初めてだし・・・

女「それではお待さん、お種下さいな」

ジュ「こ、こんなところでは出来ないなあ」

女「？なぜです？ここでいいじゃないですか。」

と、両手を出してくる。

？両手コキ？？？

女「はやく麦の種、下さいよ・・・」

・・・

・・・

・・・

！！

お、お種って麦の種だったのか！

ただ、僕がもらっているのは麦とホップ。

確かに麦とホップはビールじゃないけど、種でもない・・・

しかしながら、男心をもてあそびやがって！

ジュ「うえええん！ひどいや！せっかく童貞捨てられると思ったのに」

走ってとにかく娘から逃げる僕・・・

はい！

今回はここまdeあります！

かなり面白い展開になってきましたね。

考え抜かれた天才の作品、次回も楽しみに待っていてくれよな！

6 毎日飲もうよ

「オープニングソング」

鉄骨・鉄骨・鉄骨飲料

容易に鉄分・カルシウム」

毎日飲もうよ鉄骨飲料

いずれ血となる骨となる」

ソーレソーレ鉄骨飲料

てなわけで、今回も始まりましたよ」ん。

巷では「申ナチ」って略されるくらい評判になったZ E !

さてさて、ちょこつとした勘違いキチガイをしてしまったジュテーム。

気を取り直して、新日本城に攻め込むことにした。

野宿をし、ブリツとビチグソうんこをして、いざ出発！

「しまった・・・僕としたことが、武器を家に置いてきてしまった」

ま、いつか。

ピンチになったら作者が反則技で助けしてくれるし。
と、作者頼みなジュテーム。

しかし、作者。

今回ばかりは助けません。

てくてくてく・・・

道を歩いていくジュ टीम。

道端に落ちているうんこってかりんとうみたいだなあと思いながら
てくてく歩く。

僕のぽこちは馬並みなのに使い道がないなっと考えながらてくてく
歩く。

「ふう・・・やっと新日本城が見えてきた？」

城の様子は何やらいつもと違う気配・・・。

なんかわーわーぎゃーぎゃーあっはんうっふん聞こえない。

「？」

不思議に思っ て近寄っ てみるジュ टीम。

そして・・・

なんと！

みんなチャーシュー 麺になっているではあゝりませんかゝ！

「あ、そうだ。黒魔法でチャーシュー 麺にしたんだっけ？」

とニコニコしながら大きなチャーシュー 麺を食べ始めた僕。
ふむ。

程よい塩加減じゃなあ。

ズズズ。

ズズズズ。

ズズズズ。

うえっぷ。

食いすぎたあ。

しかも麺は伸びてるし。

ま、いつか。

久しぶりに麦とホップ以外のものを口にしたり。

これもいずれ血となり骨となるであろうな。ふむ。

チャーシュー麺だらけの中を歩いていくと、

「高速道路で手を出すとおっぱい触っている感じがするYO」

という話声が聞こえてきた。

はあはあ。

これは一度試してガッテン！

ということ、王様のもとにたどりついた。

王「貴様なにもものじゃ！」

その迫力にジューチームはびびって動けない！
ジューチームが小学生の時、

「知っている？ゾーマにベホマ唱えると140くらいのダメージを
与えるんだよ」

と、友達の佐藤裕也君に自慢されたことを思い出した。

ジューチームは腹の底から力を振り絞り、

「王様！いいや、プイプイ！俺はお前を退治しに来た！覚悟するが
YOI！」

はっい。

今回はここまでです。

いやー、なかなかシリアスな展開になってきましたねえ。

次回も楽しみに待っていてね CYU

7 ハイ・キング

くオープニングソングく

大きな空をく

な・が・めたーらく

白い雲がく飛んでったく

今日は楽しいく今日は楽しいく

ハゝイ・キーンゲー♪

というわけで、今回早くも7話目ですYO!

オープニングソングはドラマ化orアニメ化したときに使う予定D

AYO!

それでは今日もいってみよー

プイプイ「なぜ貴様が反乱を!?!」

ジュ「それは、プイプイさんが極度の多汗症だからですYO!」

そうなのだ。

申し訳ナチス帝国のプイプイ王は極度の多汗症なのである。

そのため、緊張したりエロいことをしたりするたび、滝のような汗が出て、本当に滝ができてしまうのである。

プイプイ「そ、それは申し訳ナチス・・・だっしょうがないじゃない。」

ジュ「それからもうひとつ!なぜ我々の給料は麦とホップなのですか?給料が麦とホップゆえに、僕は結婚もできない!もう限界だ!」

気分外資系になった僕は、必殺奥義・アナル・ストラッシュを繰り

出すことにした！

「アナル・ストラッシュ！」

僕はズボンを下ろし、尻の穴を両手で広げ、玉座に座っているパイパイに近づく。

パイパイ「う、うわあああ！寄るな！なんかティッシュのカスが付いてるし！」

ぷりっぷりっぷりっ・・・と近づく

「う、うわあああ・・・」

ポフッ！

丁度パイパイ王の鼻に僕のアナルがジャスト・フィット！

アナル・ストラッシュ決まったあああ！

一丁上がりいいい！

うゝん・・・快・感・・・！

パイパイ「わかりました・・・降参しますですじゃ。おねげえします。この帝国をジュテームに譲るから、許してちょんまげ」

許してちょんまげ・・・？

なんて高度なギャグセンスを持つ人なんだ・・・。

さすが王様・・・いや、元王様・・・。

「わかればよろしい。殺してしまおうと思ったが、その類稀なるギ

ヤグセンス、天晴れである！」

「えっ！？ではお許しいただけるので？」

「ああ。許そう。余は心が広いのじゃ。・・・というわけで美しま
HUKUSHIMA王国に行ってもらおう。」

「ええええええ！そんな、いやだ！ピカドンいやだあ！ここに居さ
せてください！」

「だめだ・・・。」

「なぜ？」

「なぜなら、プイプイは多汗症だから。もう汗の洪水は勘弁なのね
え。」

「そんなあああ！」

ということで、新日本城を見事制圧し、名実ともに申し訳ナチス帝
国の王に君臨したジューテム。

さて、ジューテムの次の目的は・・・

女

である。

嫁探しである。

王様となったからには王女が必要。

子作りも必要。

子孫繁栄・酒池肉林・焼肉定食・東京電力・福島原発。

嫁さがしの前に、やらねばいけないことがある。

宣伝活動だ。

電通に務めるム力つく知り合いの佐藤裕也が言っていた。

「何かを広める前には緻密な計算が必要だ。闇雲に世間に広めよう
つたってそうは問屋が卸さないZ E！有効な方法は宣伝D A R O？」

電通のクソ佐藤裕也の言うとおりにするのはム力つくが、まあ仕方
がない。

宣伝してみるか・・・。

その前にパツクリし丸子ちゃんで3回ヌイとこつと・・・

・・・うつ

・・・あつ

・・・はつ・・・

どーも。

申し訳ナチス帝国の野望作者：怪物もんすたーです！

今回も感動したね。

読者のみんなはどうかな？

ここでI T A B A S H I君からのメッセージ。

「申ナチ、すごく感動しました。続きが楽しみで仕事もはかどります。
ドラマ化、期待しています。」

だつてさ。

ヒュ~~~~~

作者はまだドラマ化なんて無理かなって思っています。

でも完結できたらアニメ化くらいはできるんじゃないかなあ。

ではまた次回ね！

8 言葉と心

オープニングソング

時々遠くを見つめるゝ不安そうなたなたの横顔ゝ
言葉とゝ心の間ゝそれはゝキミしかわからないゝ
見えないところで傷ついてゝ
一人でゝ涙をゝ流さないでゝ
全てゝあなたゝのゝ言葉にしてゝ
伝えてゝそのままゝためらわないでゝ
アゝなたゝのゝ心の形ゝ近くにゝ感じていたいからゝ

「おはようございます。渡辺アツシです
今日のTATEMONO探訪は、申し訳ナチス帝国のジュチームさ
んのお宅、新日本城です
先日、引越されたばかりということですよ。
早速お邪魔してみましよう。」

ピンポン

「こんにちわん。渡辺アツシです。」
「あ、ども ジュチームです。」
「早速お邪魔してもよろしいでしょうか？」
「あ、は、はい！どうぞ！あ、スリッパ使ってください！」
「ああ、ありがとうございます。えゝと、間取りは？」
「は、はい！洋室が10部屋と、和室が2部屋、大広間と会議室、
寝室、風呂と・・・」
「ああもう！いったんカメラ止めて！」

アツシはなぜかキレて僕を睨みつける。

「あのねえ、王様！アンタしゃべりすぎ！これ、僕の番組！わかってる！？」

うわわわ・・・めっちゃ怖い・・・仮にも僕は王様だぞ・・・

し、しかしながら、僕と我が城の宣伝をもらうにはTATEM
ONO探訪に限るし・・・

他のCMは金が掛って仕方ないし・・・

「あ、すみません・・・気をつけます。」

「それじゃあ王様、頼んだよ！じゃ、テイク2！」

重苦しい空気の中、何度も撮影中止になりながらもなんとか終了。

「あ、ありがとうございました。」

「いえいえ。王様も素敵な家にお住まいで。いや、家って本当にいいですよねえ」

この建物マニアが！と心の中で毒づく。心の中だけでね。
すると、

シュポッ

と、葉巻に火をつけるアツシ。

「あ、今日の仕事はしんどかったねえ。普通さ、なんか出るよね？」

「あ、あゝ、気が効かなくてすみません。お疲れさまでした」と、機嫌を取りながら妻とホップを手渡す。

「妻とホップはビールじゃないしねえ！」

ヤバイ・・・ぶちぎれた！

「あ、すみません。一番搾りを・・・」

「そういうことじゃないんだよ！これだよ！こ・れ！」

といい、親指と人差し指をくっつけて丸めている・・・

か、金か・・・この銭ゲバめ！

電通の佐藤裕也め！

こんな銭ゲバよこしやがつて！

「あゝ、す、すみません。これくらいで・・・」

といい、1000プイを渡す。

「はあ？1000プイ？しけてやがんぜ。まあいいや。王様だからこれくらいで勘弁してやんよ！おい！もう引き上げるZO！こんなとこいても銭になりやしねえ！」

・・・なんかそこまで言われる筋合いはないんだけど。

・・・腹が立ってきた。

・・・黒魔法使ってやる！

はああああ！！

うなれ！俺のコスモよ！

きばれ！俺の肛門よ！！

うううん・・・

ブリッ！

覚醒剤が菊門からぶりぶりつと出てきた！

「はあはあ・・・これを差し上げますから・・・！」

「こ、これは・・・末端価格で1000万プイはする上モノじゃねえか！王様！今後俺はあんたの嫁探しのPRに命をかけるZE！」

ふふふ・・・。

これでもべがまた一人増えたな。

てか、一人目のしもべだけだな。

・・・嫁探しの道は遠いなあ・・・

はい！

今回はここまで。

いかがでしたか？みなさん。

申ナチの国主となったジユチームがどんな活躍してくれるのか、
楽しみですNE

それではまた次回！

チャオ

9 オーチンチン

オープニングソング

チン・チン・チン・チン・チン・チン♪

チン・チン・チン・チン・チン・チン♪

ヤー・ヤー・ヤー・ヤー・ヤー・ヤー♪

チン・チン・チン・チン・チン・チン♪

夏々の河原の水遊び

ちっちゃくちんだ ちんちんを

つまんで・伸ばして・ひっぱって

大きくなれと泣いたっけ

オー♪チンチン♪ オー♪チンチン♪

あのチンポコよどこ行っただよ

どもども。大人気の問題作・申ナチのはじまりだよ♪

お待たせして申し訳ナチス！

さて、今回はジュテームに大問題が発生するんだZE！

それでは始まり始まり！

小鳥のさえずりを聞き、僕は目覚めた。

寝室のカーテンを開けると、雲ひとつ無いスカイブルーの空が窓一面に広がり、朝日が僕の瞳に飛び込んできた。

妙に清々しい朝だった。

僕はいつものようにトーストを2枚トースターに入れ、焼きあがる前にスクランブルエッグとベーコンを焼く。

トーストが焼ける香ばしい匂いがしてきた頃に冷蔵庫からミルクを

取り出し、グラスに注ぐ。

トーストに薄茶色の焦げ目が付いていることを確認し、2枚のトーストにスクランブルエッグとベーコンを挟んで完成だ。

僕はこの朝食のひと時がたまらなく幸せに感じている。

朝食が終わった後、寝汗を流すため、シャワーを浴びる。

脱衣所に行き、服を脱ぐ前に体重を計る。

健康管理も怠らない。

自己管理が出来ないものは自国民も管理出来ないと考えている。
体重を測り終え、いよいよ服を脱ぐ。

・
・
・

・
・
・
・
・
・

・
・
・
・
・
・
・

!!

・
・
・
ない!

チン毛がない!!

どこに行ったんだ僕のチン毛は!?

無作為にチン毛を探す。

脱衣所・食卓・居間・寝室・・・・

寝室の床に紙切れが落ちていた。

「もう耐えられません。家出しますbヨチン毛」

ええええ!!!

チン毛が家出したああ!?

こ、こ、こ、これは大変だああ!

チン毛がないと外人と勘違いされるし、温泉や銭湯、プールに行けない!

何より、SEXなんか恥ずかしくて出来ない・・・

「なに?パイパンなの(笑)王様ダサインですけどお(笑)」
そんな失笑がどこからともなく聞こえてくるYO!

OH MY GOD!!

最悪だ!

さっそく家出したチン毛を探さねば・・・

僕は寝巻のまま外に出た。

とりあえず情報収集。

三丁目のタバコ屋のおばさんに聞いてみる。

「あのー、僕のチン毛が家出したんですけど、知りませんか?」

「あー、あのチン毛なら、駅前の方に歩いて行ったよ。」

「ありがとうYO!」

僕は全力で青梅駅前に走り出す。

畜生め!チン毛の野郎!チン毛の野郎!チン毛の野郎!

何が耐えられないんだYO!

僕が何したって言うんだ!

ナニもしてないじゃないかＹＯ！

と考えながら駅前に到着。

チン毛らしきものは何もないので、とりあえず情報収集。
駅前のぱチンコ屋で聞いてみる。

「あのー、僕のチン毛が家出したんですけど、知りませんか？」

「あー、あのチン毛なら、さっき連チャンして１０万プイ勝ったとか喚いて出てったよ。」

「どっちに行きました？」

「宝くじ屋の方へ行ったよ」

「ありがとＹＯ！」

そして、近くの宝くじ屋へ向かう。

宝くじ屋に聞いてみると、

「トロ６を買って、今から妻とホップを買いに行く」

とのことだったので、コンビニ・酒屋を行ったり来たり・・・。

結局見つからず、新日本城へ戻ることにした。

「まあチン毛がなくても生きていけるしな。外人として・・・」

嫁さがしの道は遠いなあ・・・フツ・・・

とニヒルに笑いながら家に着いた。

すると、チン毛が玄関の外にいた。

「この野郎！なんで家出なんかしたんだＹＯ！さびしいじゃねえか

！」

「申し訳ナチス。どうしても旦那の特殊なオナニーについていけなくて・・・」

「馬鹿野郎！もうファイヤーオナニーは辞めるから、俺のポコチンに帰ってこい！」

「ホントっすか？ファイヤーオナニーしないッスか？」

「しなから！早く！早く！早く！」

チン毛がポンツとあるべき場所に飛び込んできた。

やった！やった！やったよおおお！

チン毛が生えてきたあああ

これで嫁さがしが出来るＺＥ！

ファッキンジャップくらいわかるんだよバカヤロー！

はい！

今回はこれで終了です。

今回も楽しかったですねえ。

趣向を変えての本作、いかがでしたか？

考えに考え抜かれた申ナチは、

今や全米も振感するほどになっているＺＥ！

では次回もよろしくＺＥ！

作：怪物もんすたー

10 麦畑

オープニングソング

(男) おらと一緒に暮らすのは
オヨネおめえだと
ずっと前から決めていた
嫁っこさ来ておくれえ

(女) やんだたまげたなあ
急に何言うだあ
おらも前から松つつあんを
好きだと思ってた

(男) 鋤を持つ手が震えてる
(女) 鎌を持つ手も震えてる

(男女) 二人の心はしずむうー夕日に
真っ赤っ赤に染められてえ

(女) おらでええでか

(男) おらおめえでええてば

(男女) 愛の花咲くうー麦畑~~~~~♪

僕はお気に入り曲を聴くと、心が弾む。
麦畑・・・いい曲だ。

ジユチームは思った。嫁っこさ来てほしい。

僕のレベルは今や267。

もう相当なイケメンになっている。

僕は嫁っこ探しに麦畑に向かう。

麦畑にはスタイルグンバツのベースケなナオンがいた！

「よ、嫁っこさ来ておくれ〜」

「いいよ。いくらいれるの？」

「10万プイ」

「いいよ。嫁っこさ行つてやる」

ということで結婚。

パンパカパ〜ンパンパカパ〜ン♪

さっそくSEX三昧だあああ！

ZUKOBAKO、ZUKOBAKO、ZUKOBAKO、ZUKOBAKO・・・

あっは〜ん、うっふ〜ん、ブリブリ、もりもり・・・

僕は一男三女をもつけた！

テレレレッテッテ〜♪

ジユチームはレベルが324になった！

う〜ん、やっぱり麦とホップはビールじゃないしねえ。

というわけで終了です。
なんか書くのが面倒臭くなっちゃいました。
気が向いたらまたの作品で会いましょう。
それじゃあね〜バイブー♪

← ← ← ← 1 ← ← ← ← ← ← 2 ← ← ← ← ← 3 ← ← ← ← ← ←

← ← 3 ← ← ← ← ← 4 ← ← ← ← ← ← 5 ← ← ← ← ← 8 ← ← ← ← ← ← 7 ←

う
ん
こ

← ← ← ← ←

← ← ← ← ← ←

1

← ← ← ← ←

2

← ← ← ←

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5782s/>

申し訳ナチス帝国の野望

2011年10月8日13時09分発行